

農業所得申告支援システム説明会のご案内

JAと魚沼市税務課合同で農業所得申告支援システムの説明会を
下記の日程で行いますので、お気軽に参加ください。

なお、JAより資料が届いた方は当日ご持参下さい。

日時および場所

《説明会日程》

2月2日(水)	午前9:00～午前11:30	守門会場	守門開発センター
	午後1:30～午後4:00	入広瀬会場	入広瀬支店2F
2月3日(木)	午前9:00～午前11:30	湯之谷会場	湯之谷支店中会議室
	午後1:30～午後4:00	広神会場	広神コミュニティーセンター
2月4日(金)	午前9:00～午前11:30	堀之内会場	Aコープ堀之内店2F
	午後1:30～午後4:00	小出会場	本店2F大ホール

《相談会日程(収支内訳書記帳相談会)》

2月7日(月)	午前9:00～午前11:30	湯之谷会場	湯之谷支店中会議室
	午後1:30～午後4:00	広神会場	広神コミュニティーセンター
2月8日(火)	午前9:00～午前11:30	堀之内会場	Aコープ堀之内店2F
	午後1:30～午後4:00	小出会場	本店2F大ホール
2月9日(水)	午前9:00～午前11:30	守門会場	Aコープ守門店2F
	午後1:30～午後4:00	入広瀬会場	入広瀬支店2F

※会場が変更になる場合があります。

資料は1月17日(月)～21日(金)の間に郵送でお届けします。既にお申込みされている方で、21日までに資料が届かなかった方、また、新規に資料をご希望の方は下記連絡先までご連絡ください。

※新規にお申込みをご希望の場合、別途資料代金がかかります。



◆お問い合わせは

JA北魚沼営農経済部営農企画課

TEL:025-793-1770 まで

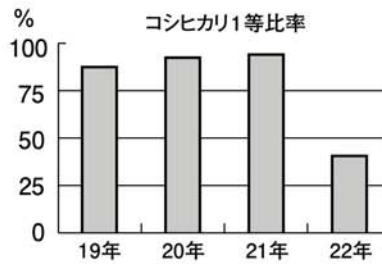
平成23年度目標 世界最高水準のおいしい魚沼コシヒカリづくり ～全量一等・タンパク含有率6.0%～

平成22年度は、平坦部を中心に近年希にみる品質低下となり、魚沼米ブランドを低下させてしまいました。猛暑や冷害などの異常気象に見舞われても品質を保つために「基本技術の励行」が重要です。

1、平成22年の1等米比率

1 うるち米の1等級比率33.6% (10月末)

- ・平坦部を中心に品質低下
- ・地域の一等級米比率格差拡大
- ・格落ち理由
 - ①除く青未熟 69%
 - ②背白粒 11%
 - ③心白粒 11% 他



2、平成23年対策

1 一回目の穂肥ができる稲づくり

- (1)健苗育成で初期生育確保 ・適量播種、適期播種・弁当肥の活用
- (2)地域別適正植え付け株数ので適期中干し
 - ・特に地力の高いほ場を除き、60株/坪植えを基本とする(50株/坪から60株/坪に変更する場合は減肥を基本とする)
- (3)梅雨入り雨の適期中干しの徹底 ・本格的な梅雨の降雨前に中干し終了(目標穂数80%確保)

2 土作りの推進

- (1)作土層の15cm確保 ・年2～3cm程度づつ徐々に深く
- (2)有機センター堆肥の活用
- (3)地域に適した土づくり肥料の活用・土壌診断データを活用

3 水管理の徹底(根の活力維持)

- (1)中干し後の飽水管理(水が無くなったら灌水)→常時湛水
- (2)幼穂形成期以降の常時湛水 ・幼穂形成期～出穂後25日以降まで常時湛水管理
 - ・出穂期前後10日(計20日間)はやや深水管理
- (3)高温時には水の更新実施 ・水の更新による水温上昇防止等
 - ・減水深の少ない(1.5cm以下を目安)ほ場では定期的に水の更新による根の活力維持

※適期適正中干しとセットで実施



3、異常気象時の緊急対策 (異常気象時に基本技術にプラスする技術)

1 気象変動に対応した臨機応変な栽培管理

- (1)稲の栄養状態、生育状態にあわせた栽培管理
 - ・異常高温年の稲の葉色や茎数等を加味した施肥量の増肥、異常低温(冷害)年の施肥量の減肥
- (2)全てのほ場で定期的な水の更新徹底

JA北魚沼では北魚沼ブランド「品質安定向上」緊急対策として、
土づくり肥料の施用推進を行っています。